



聖廟品流多格の言はいのと 節私は活 の風 源分多 志る 一正德四多 て要の日

从继,



富士川支庫

1391

Kitasato Memoria Medical Library

不 額找处全场岩地属造之助手 失惟長 炒之於 医砂了之四零之大 着女子后随之後也院之等高之抱欲 要接石弱 龍門點水河源九 仏之之方者君也耶福多安蒙

兹君未化至本 百面縣示以学言 求府於是不不堪以 之者也多制具志多端别利人因 包字松于傷寒於于 唇般超網 日是先人傳高新造命而上木

Kitasato Memorial Medica

Medical Library

者各公司站立

事建快自奉,

蜜照膽道上柴胡湯 大柴胡湯 小建中湯 桂枝加大黄湯 茯苓四进湯 白通加豬胆汁湯 附子湯 真武湯 桂枝人多湯 四逆加人参湯 通豚四逆湯 通豚四逆加豬胆汁湯 白通湯 甘草乾姜湯 替根湯 大承氣湯 桂枝湯 麻黄湯 大青龍湯 小青龍湯 五苓散 桃仁家氣湯 殿曹原手引草上編方月 理中湯 麻黄附子細辛湯 麻黄附于甘草湯 四逆散 四逆湯 白頭翁湯 當飯四逆湯 吳菜更湯 和解湯 神效沃雪湯 乾傷寒解感冒 中六 三十分 等 調胃承氣湯

小承氣湯

柴胡桂枝湯 三合湯 芎藕散

永明湯

大頭溫病之植物之國大學一州干冰、真海海、州京小

芩連消毒飲清上養中湯

文温光十二十二大小教 独立州子自己是 四里

陽旦湯 養親湯 大學問題 八重中歌

甘平温病化十二旦方大年至長

熱明是不無為 北天三本海

黄芩湯林 温毒行 陽毒同 陰毒同 中寒行傷風叶

濕温人十以上無方

時行李

運原飲 人中黄九、清熱解毒湯 六神通解於三一茶氣湯

香源亦

白虎湯 凉膈散 茵樟蒿湯

極病 九十 三方 中小女

香運中暑於村家七方連場 連理場 然於白本縣

消暑十全散 近制清暑益氣湯 黄連香薷飲 十味香薷飲

電記電記百

括蔞桂枝湯 小續命湯 如聖散

大順散

東垣清暑经急湯

茶冬晚

Kitasato Memorial Medical Library

痢疾百二 十五方 金屑九

芍藥湯 和中湯 苓連芍菜湯 真人養職湯 参飯芍菜湯

香連九 胃太湯 参連湯 連理湯 参苓白木散 柴苓湯

如味附子理中湯 消疳湯 秘傳消班九 逆挽湯

泄湯 百十十二方

胃風湯 二陳湯 参奏白木散 四神九 六柱飲 八柱飲 明专湯 理中湯 四苓散 香薷散 五苓散 香砂平門散

神雅 初丁八古

松實導滞九 木香草滞九 首花解酲湯 平胃散 抵把葉湯 保和丸 備急圓 香砂二陳湯 紅丸子 不好傷 日本人四本門城下的 就能 人共傷食七牙 彩北方 當該新華都 子學也年

七味清脾湯柴白湯

十味不換金散

人多多養胃湯

柴胡姜桂湯 柴胡桂枝湯 白虎加桂枝湯

補中益氣湯 八解散 香砂大君子湯 香砂養胃湯

虚势上十十岁

人参養营湯 放陰理労湯 滋陰至寶湯 逍遙散 飯脚湯

金匱要的久湯 諸血以九九方 小青龍如石湯参苓白木散多米青

獨参湯能参湯犀角地黄湯三黄海心湯 等飯眼艾湯 猪太湯 清腸湯 麥門加石湯 飯牌湯

京清清·一十八分本本

人参養胃湯 保死湯 當飯補血湯 七味地黄丸 當飯地電湯一桂枝如龍骨牡蛎湯、竹葉石膏湯、當販六黄湯 大字不模盒以 人字

桂本大甘湯小小豆湯小牛夏如茯苓湯

十速湯 同變方 控涎丹 滚痰丸 五飲湯

咳嗽二丁五方

黄子生夏湯 撫沉九智湯 括養松智湯 撫子降氣湯 小青龍湯 麥門冬湯 桂苓五味甘草湯 清肺湯 杏仁味子湯 喘 一四方

君子湯 生脉散 獨参易 養附湯 保元湯 短氣野少氣同逆氣同七方

脚氣五十八方

は原子語

方目

小檳榔湯 大檳榔湯 野氣丸 植子湯 水菜散 杉木湯

水陳湯 深多等。衛門沿 供无湯

厥五十 無方

養胃湯半夏泻心湯三黄湯局方三黄圓 店滿五十 四方

精聚六十十二方

三黄泻心湯 小柴胡湯 柴桂湯 厚朴七物湯 泻胂湯

寛中湯 大建中湯 桂枝枝苓湯 抵當九

决各柱技甘草大走湯 大七氣湯

水腫は十八方

厚朴七物湯 半夏漏心湯 燕子湯

桃花湯 桃人承氣湯 扶當湯 八味九 真武湯 實脾飲

北原湯 附理如桂茯方 益氣湯合五苓散方 濟生腎氣丸料

分心氣飲 分氣補心湯 導水茯苓湯

補中消脹湯 寬中丸 寬胃湯

建前後九十 十方

厚朴七物湯 十東九 實脾飲

北原湯 参附理陰煎如白木方

治寒脹一方

治熱脹一方

小檳榔湯

柴平湯

本味七味生氣散 補虚湯 安產名方 黑蒸順栄散

安神散 失笑散 奪命丹 無憂散 苦飯調血飲 勝勢飲

楊梅·瘡并結畫九十五方

消疳敗毒散 消風敗毒散 大元湯 和劑三黃圓 即驗丹

痘疹百十九方

十神解毒湯 温中益氣湯 近制清暑益氣湯 加味敗毒散 加味升麻葛根湯 如味多種飲 消毒飲 正氣點

凡二百三十餘方

上編多日畢

引用家書目

同續通考 古方正通考 八卷

從本事方到宋元技書

明初到崇複技書

医通拔書

八百餘方為,主方

金匱千金脈經故書

酸西方後枠 皆 校 接 十七卷 十五卷

日用類聚方 が偽良る 二十六卷

古方活用

傷寒類證改輯

以活方二千餘方為客方

傷寒論方中後世活方 以五十支聚之

謙齋輯録

Kitasato Memor

I Medical Library

木香異功散

十方八載せズ國字書三定常堂校行衆方規 公然方う見ルニハ右ノ書ナドラ参女 辺ら 回春頭書 六八本草 綱目傳其船翁松岡翁物産録 名医者雀

六神通解散 上九二六柱飲一上话 八柱飲壮百麥門冬湯十四卷石湯 胃風湯 苗旗高湯 十上

ラ思フテ此書ラ苦スモノナリ 一班書二学ル處の薬るい古古後也方又い家やり傳方又いかる 類或な言り分見 ノ部位サンアタリ寒熱 知り今日用捨り大端ラ書載ス 上編病門四十餘條户り病門三り諸派ノ療法三見 モアリテ一般ニ偏ナラサルヤウ三或い用し或格の性俗 八七ラ取サルト云、正病家人意得三ナスコー 虚實ノトラ見レルフラ載セテ り或手近キカト云、圧病ョリ 八橋ラ詳二葉方人下三旁書ス

桃仁承氣湯山心 桃花湯什八 導水茯苓湯十四 藤垣清暑益氣甚生河 本外七秋旦原散十 作家套衛戲 工首以於運馬工酒 製水高目 十二 十味有換金掛六十東湯八四十神解毒湯八百 治寒眼六方行い二歲陰五震湯れ除。實際致 竹葉后高湯下五 保元湯十六 如 版 補 他 揭 下 当 由 板 六 黄 湯 下 至 症科鎮木香黑功散 叶百 補中消脹湯 治熱張一方十

六种通解散 大地 大托飲 山石 凉漏 散 七地 理中為 七五 黄芩湯七八黃連香薷飲山百黃芩半夏湯打 書替找此姓 松随香花飲止西 洪大年夏思 香港北上百一香連九上百 各砂平岩目散土百十五

張承近世情暑益訊憑可可指考陽行手

香礼野食用湯 松二 葛根清 七地 甘草乾姜湯 杜四

参茶白正衛 杜酒 多 飯 芍藥 罪 前居 黎 阳 满 干五

京開理陰前於白水友村九 調明以京東 湯川上五

Kitasato Memor al Medical Library

参附理陰前加白亦方 打九 人間教氣湯 参考白成散 上百 参的与其外 参 多附湯 妙學理一十五 張成迎世清暑益氣湯听而猪苓湯下干 十百五

黄芩湯性、黄連香薷飲山百黄芩半夏湯十四 黄者內托散 下百萬日 明的是 曹明太孝子 六神通解散十二六柱飲上百凉膈散十四理中湯上五 原西雄 等在原告 工一 化禁石等港 打五 治熱脈一本。 上百十五

黄孝湯 北八黄連香薷飲上百 黄芩半夏湯 十四 和解湯上六和中湯上百 百和劑三黃圓

香薷飲江百十香連在上百香砂平胃散上酒 紅光子丁十一控延丹 怀四 厚朴七物湯 下六 香薷散壮酒香砂口陳湯下十香砂六君子湯下二 加味附于理中湯上百加味升麻喜根湯十九百 香砂養胃湯下二葛根湯上四甘草乾姜湯上 府意數藥加百 加減敗毒散下石 加味多 無飲下石

一十五

和相

上京中華の本本を

小年夏加茯苓湯打四 消毒飲 目次里 須 十九百 生 脉散 東北地面 白通が緒院活港 過多之間

医生三五年豆 終望ニョリロ後 渡上號テ先人謙空翁正德年間諸國ノ スルがラ筆記スルモノナリ凡京師三来 医席二出テ素難七部ノ書等ラー通り

万七組山上云意三元本草

二對心直二治療カナルカト思

へバ却テ向上

一標書房はナーノ書ラ馬ン取り運氣經

成就トハスルフナリサレバ其

Kitasato Mem rial Medical Library

人人虚實ョリテ補湯ノ用おいカワラチに先っれラカニウックシャ ラ招名トアリ假令害大人民来終ンラ対速ナラダの論記過 藥バカリラス対ナン其故正德年間を生五三年京師三学デ婦 上は家々人加減人使に覚アリテソレラ関ルバカリニテ外 りナン一生半上落下人見解三方療治的當人思 療治方人立不吟味ナレバ愈学テ愈暗空 と者人療治ノミラスル時医している 横ラモ耳時三觸ルトイへ用其時医神芸ツカヒモア 傳來人通三テ療治レテ見しに思フマウニ使ラダガニ カレモアリ或補湯二偏ツカス諸病六君子異功哉 えれ三見タホドニトラナ かり医学元者多多り然上十一一件医学人を ラば、千心無 ラ苦シメガル者三施せ八小 引アテ、学が直 人医学ト云モノナリ何 処り見取ル人

Kitasato Memorial Medical Library

及べり其節八京都ニモ今時ノヤウニ古方家ノ傷寒金置力連一通りノ療治方ノ立フロ投アリンナリ當年三万凡五十年ニ 日本ニュンテ桂枝湯建中湯理中湯ブ專ラ投出リソレ近八本トスル流義希ニンテ名古屋投資前百年前三仲景ノカラ始テ 郭ノ野者挂附ラ容易三遣ハ文律義ナル療治方二テ敗毒散正 正德年間二先人書生等五大事了集义于手渡上此書之名产生 学ノ仕立アンケン病功ニアダルホド息下手功ガイテ思いる人思ニ アレだ思人外的語樂屋カラ見い魔末ナルコト多之大病功上五七 ナキ学文八医書百部暗いるを何人役三立又すりた孟子師謂モノナリ其無轉が取ナ学文事学文上系轉」事三条轉 書き見テモ療治下手たが学文世ヌョリガルり故三素 学医ハゼガーワフヌト云モイヤルイワレヌコトナリか論氣轉を医者 ノ第一ナレモ医学ョリ出タル無轉デナケングランポノメッタノト云 有智慧不如我勢上ア七十人時医以格别上手人下之一的思 アハナハ療治が働力を一云成程尤ナルフナリ然し圧病功を一体医 取三和散五種散香砂養胃湯がナラ東明之至極人補菜上云 識ラ発し又其故下手功ノ病功い所謂技究しい二至ルナリ 本法人筋ラ聽テモ吾馬見三版レテ彼擔板

ア焼ス元祖ナリ其末流今三野り智郎と大桜ンテ天下二名巻ラ頭せり實三本部 地黄丸八物湯。太補湯、類三テ ラはランラ恐しテナリな一病人アツテ補剤ラ用ルコトニュ 一般ノ誤シーラないの西方問餘医女規矩等人温補ラ主 ナリ此時二至リ丹水翁桂枝建中理中ノ温補ノ 海温凉十七二病三應了施世氏末門八事八的虎承氣人類人元祖十少其未流今三至少諸國二七多之然儿二丹水翁 家書上人門人三傳八八八寒凉攻殿 タツイタル薬力世上 人非東ハ白虎承氣人類 氣茶事 三流》

三川意得アルベキュ 事七大 療治八仕ガタン急ナル病ハ ルガス中カアラハレルモノ也補業ラ用い へに未夕人命 スムレバー ラ書は又是病ニハヨレ、正見 正急た病ニサヤウナル うき事八用指スへン諸 病家補まラ用ク 相應ナ

即以アリ又補禁傷人実

手際モノナンバ別ノ精クない近世古が東ラ行と寒凉ないとう也殊二傷寒痢疾を帰すしい無三神スカ急ニ海スルカ 病家ョリソンく三補来ツカイ海来ツカイラ選ラ機コーナ ツテ最早取り返しガナラズ俗三一貼ニテ見せッケタト云ハ 是ナリ又補亲ノ證ナレトモアマリ虚脱せ又病二寒、茶污茶ラ用 レハなと客ハナサズトイへト七病ニョリ五七日ノ中ニアケモ オロシモナラスヤウニナリテー向手ガッグラレスヤウニナ ラ南エンヤクモナク用に見事ナ手 柄モアレル又見事ナ仕 モアルナリ然レドモ今京都ナドニテハ素人モ功者ニナリテ

鄙ノタメ日本医道と傳來うだが左二記スモノナリ カイモ足モトカラ鳥ノ立ツヤウナル仕損モナク編ナル流義 医者二打任世才年息引取でデ医ラ轉せザレバ生死八全夕医 ナリニ相應三通リテエクフ社々アレだ田舎ニテハ何事モ 八中々医者ヲ親ニスル事ニテナン故ニ湯菜ツカイモ補茶ツ くろう上古の事かんで今にる傳の次此中古欽明天皇推古 病家亦言云本朝医道の元祖八神代大己貴命少彦名命の二 神か始は今の五條天神へ即少彦名命の御鎮座うり其法術

Kitasato Mem

ial Medical Librar

る小承暦の項百濟國王后風疾と患へ我朝の医師丹波雅思 經開本細川勝元の霊蘭集者名高き書かう又朝野群載と見 素と申書と撰い康頼八殿間心方と由書と若は其外帯原学嗣 の金蘭方五十老安信真真の大同類張方百老出雲廣道の難 に和氣丹波の两家と以て代々典素頭に備山廣世へ茶經 子孫相續で醫の名家とう又丹波康頼と明名医出るいて必 於て和氣清磨の長子和氣の廣世と申此人此道の妙と得て 天皇九御宇百濟國より醫博士并扶某師と我朝る奉心我朝 ふる。亦医術名香の人相續で医博士的教頭に備でるの中か

家なの秘傳でする他小出す事が、其内る家相續ないというに代々の名医の撰とるの書籍其數多しというと維持之雲中のかの見等の事實を考えて我朝名医いるしながをで百濟へ返輸の中に雙無機難達息とれるというしながで百濟へ返輸の中に雙無機難達息というと と水め迎へられなるの朝廷愈議ありてはっていることは下き も今に傳る夏は一情きしているのありかり今在之所 断絶するとのう或火難かかりて焼とするものです ないおがしまるわかの茶い其書傳らいとといるまあのる

ど外傳へ残でるるの状態のある日本流の医道で名

以てかり又療術と大き道三家と同一き由きる及め精 家あうしいでも道三を以て中古ととろへ天下此流多きと き変いるに植後日と俟るのかり 號山又施菜院八和氣長成る始で代令有之大正年中豊臣秀 吉分江州乃全宗と云名医を進めて施来院とせりと其外名

医生ノタメニ昔時口授三預リン人ヨリを請う医療手引草ト アリン書也手渡トバカリ其節云ンガ今哉質暦以軍年寄宿 療術人緊要多樣子先人初学人随分理會シャスキャウニロ将 此書ラ手引草ト名グケンハ容易ナル書名ナレ氏究メテ日用

諸病三投ノ京師三鳴ル聊モ寒凉攻撃八用に又是仲景流十八 諸國ニモ多い今モ其末流三ナ温補ニ偏ナリ爰ニ小松流トテ イへ任仲景人補劑バカリラ用タルモノナリ此棟隆子ノ門下 ラ貴で古時飲田棟隆子八升水翁ノ門ニシテ別ノ温補ノミラ ノ大要ラ拳テ段々雑病ノロ投ラボルナリ 名ツケテ指當り捷徑三治療ノ口的ラ述《又予ガ見聞スル所 万病トモニ附子ラ用ル流アリ中項京師三鳴ル原八棟隆子 力水省八傷寒金匱ノ方中三於テ專ラ温補ラ主トンテ陽氣 一當世人諸派の緊閉神スルモノナリ最初三傷寒大經治法

治上別々ノモノニナリ該ニモ学医ノ来ハ郊ナントイヘリ意 〇僧医学人次弟八是一天日本人医者多之上人 温京人術俱三備しり ノ病ニハ病家ヨリ医者ヲ擬ナリ強呼近來一古方家八仲景 方中ニテ泻茶ガチニ用ルモノニンテ丹水部大流アルヒハ 流ノ医師上治法背腹ニンテ諸流多ケンバ彼是患云補写 一人在医学上療

トイルを實ニサヤウニ有之ナリル、医学人次弟ラ不知人は

丁三次第アルゴトク医学モ次弟アリ昔時古田意

唐ン彼地二智ルコト十一年明医二学ラ

歸朝シテ医学

次弟又立ラレンか先、初学ノ入門八茶品ノ作素ラ学へし此 テ新論を学上キハル、デスイノ中ニテスラ知ルナリ其次二古 学へい医術ノナノ中ニテニラ知ルナリ其次二茶方ラ学フ 方力處又儿医学人次弟上療治ノ次第上八前後ノ意得了一怪 ン此ラ学へい医術ノナノ中ニテ五ラ知ルナリソレフかニン 人と医按上版ラ学テナケノ功力遂ルナリ此能謂下学シテ後 スルナル り此う療治主施ストキハ先ツ豚ラトリ病ラ知り

ル是ラ以テ医学上療術上引上ナレリ此次第ラ知ラス初学ョ

本却人医学初三素電難經格致沖四ラ子と後療治人都古ラス

古三アリテ酒客吸逆落食り兼ルモノニモ用コンソレユへ近來 黄八去コーモアリ即桂校が葛根湯ナリ桂枝湯ョリハ首日根ノ 邪圧三輕證八此方ニテ事スムナリ佑此場ラ近來方方家三テ バナリかな八方後三精ンク学をり作用に覚ルト大な風邪寒 感冒正面ノ刺ナリ大春月多用ルノ刺ナリ内二柴胡川ちアン 大り頭痛悪寒發勢脉浮盛三頭るシ物急スルニ用テ即効アリ 八アンリ桂枝湯ノ沙汰八無テ風寒上モニスベテ表証二用ル ラ大三組デ麻黄下二味ノか味ナリ夏月又ハ汗アル證二八麻 傷寒論意根湯ラ四本と事用ルナリ此方程枝湯三葛根

レテ三合湯上名ケテ無汗三麻黄三合湯ヲ用ら有汗三八桂 上同シ又或傳三桂枝母黄各半湯」書根湯上、柴胡湯上三方合ル我アリか情龍湯アルと八和解湯三麻黄杏仁ラか味スル意 松三合湯ラ用に太陽陽明以陽ノ茶ラ三支合しテ式を胎有湯 ナリ是丹水翁人風邪咳嗽三多種飲ラ久シク用レバ労咳三ナ 汗出ルトイへ圧勢カーツテ解ズ後ムツカレクナルト云へル ラカナリ古古家三云八世間二山時多種飲正氣散力類之用テ 桂枝八緩し麻黄八色ナリ葛根芍菜アルユニ桂麻ノカヤ トカン桂枝湯正面ノ盤バカリモナン陽明ラ無ルモノ多し

Kitasato Memorial Medical Librar

四逆散若四逆而或咳或悸或小便不利或泄利下重者宜此散 表證可見一至以後變出脈細沉影中燃不得以空日限脹 麻黄附子細辛湯が悪寒アッテ麻黄附子甘草湯の證二十一条追 ナラズ変飲る変アル者三用ルナリの後と傳經直中人別アリ先ッ 不大便者傳經教證十月急下之宜大承氣湯或清水戶自利 心色純青心下必痛口乾燥者亦悉下之大承氣湯

甘草 松實 並胡 芍藥 重えんい希ナルモノナリ虚寒ノ設ニアルゲンを教設三是如う

四逆湯始至病脈微細中和祖欲臥者道中人寒證上又宜此湯 ア八人是南人信寒小云モノナリ 右三城以水三升煮取一升二合去海分温再服強人可大 ヤナレに病状が中寒ヨリ公然と中寒ノ暴ナリコレモ先、布ナル證 附于一校就要三面, 分量古方家大核二多目餘二修合人儿也 利みな者三月ルナリ是甘草君茶ナリ甘草少ケレバ方ノ思ヒイレ 違すり減べからるの直子二少陰野經一中天後世十中寒上同しつ 病為迫二之了四世殿之及上清教多下利之身疼痛及心小便清 甘草二面 乾姜二面 附子一枚生去

Kitasato Memoria

Medical Librar

汽五六行人後青色或黑灰色赤白兼下小熱甚ら少台ナドモ白胎 り不食少年日程内三急三草取ルモノナリ油 慢後のナドノヤウニナリテ不属コトアリ多クへ食満ヨリヤ 用ルコーモアルナリの借小見一動病療治違言元元モノ多支 汽二依了外野脾虚又是大虚少痢病ナリ 都附ノ別煎ヲ兼 温神へいた水翁自制人道院易尹用へし若し虚し之虚陽る 一一行三十七七八行三十七行子後一聽血了下心都是後重之心子必 候了一一八叶子理中湯如肉桂用了一下地下部中焦虚之名七人 ※ラ用ルコーアリ是三八款ノアルコーナラ初發泄海三十行或 板がヨリ

ったときしたいがんとくそうかったいうはん湯の製シテーヤ 八月村連ち菜湯で人味源ノ削ラ用バ早速かり少し七害 派,前ラ用ル場へ逆視湯ノ類ノ温補ラ用して,且病增息 用でして應く来ラ用ンヨル先少年日モー日モ見合ラヨン其文子は 大大大者心温補、利力用でき痢二は除人利フ用しい損アリテヤ んや最初ヨリ膿血ラ下之大便通之カ子後重元や精ンク問ラは来ラ り大人三テモ元來脾野弱キモノハ同じ治法ナリ必泄泻ノ後刺三変 病三先が用ルトイヘルコー人愈嘉言が見ニョッテ遊挽ノ削ラ自 住附するテ温補スできまりは数ラ味が入れ利ハーロニアモ禁用

Kitasato Memoria

Medical Librar

黃連分甘草が直根参好人要公右水二五年入一五年三東之海 ? 去り一面三前交出来心下けい人フサガルラ目當トスナリ腹痛不食或 米湯ラ用ルナリ附子生夏甘草大東梗米ノ五味ナリ亦大抵泄污 りた心下痞スルト云ラ目當上人心其方生夏五分乾姜黄芩谷四 腹鳴り心下落り痛三或嘔し不食不生夏泻心湯等一用光 ラ用ルナリ白木附子甘草ノ三味かり或八腹痛シテ泻スルを附子種 し古方家三番できるラ用ルナリ黄本方葉は草ノ三味ナリ寒污 寒爽アルモン公文を湯ブ用ご教館キモノニハ肉柱ラ去テ黄連ラかべ

八積痛泄泻が論泄泻せサル三七用テ甚ダ妙ナル菜ナリ又久に 桂枝甘草品四白木人奏乾姜品三人五味ナリ吉野人参ラ用ルニョッ ツテ不止も多なら日本散多散菜上三東ノ東湯三テ用テか 隨時意多以子增减人心是具武湯分寒泻久泻在三用小力茯苓芍菜 生姜格三日本二面附子一個右五味力力亦曉每三污九牌野污 ラ子甘草三四両トアルナリ韓人参ラ用に八此分量三テハ甘草多し 河子ラかとしてアリ古方家三人桂枝人参湯或ら具武湯ラ用ルより り参奏白木散散茶人物格别煎湯ョリ勝しり或八久泻二肉豆 四神九人證三古古家三子金匱賢気九才其五預三子九以用ルナリ又

大抵 御湯 小抵物湯澄而氣急甚脈有發難用前湯者投之此湯 右水煎

鱼 痰喘唯心下氣急者主之 橘皮 紫蕪 木瓜唐 吴茱萸各 槟榔芝 生姜三

小腹分子麻痺不氣味之子小腹三無劳小便不利二用土教 野氣九金遣 脚氣腫満己ラ推之一種でワラカニンラ教ナ き者 六難用或煎湯とさい専用 右水煎

越干湯 心下二種コトナノ気滞ヨリア上ラ腫多う或珍喘アルモノニ

木菜散 治脚氣 尤宜しの即種子降 唐問記不識入手足脈致**起** 東湯見端門

右為末温湯送下或生姜五片水煎 吴菜草中面 木瓜一面 换柳二面

杉木湯 磐石湯 治脚氣池 杉木節水煮浸将脚大號。足跟一一一一一一一一一

右一味以授水一斗五升煎三五佛漫脚良の授水人代二醋弄

石唐二十美

Kitasato Memori I Medical Library

ナキャウニ云テアル其時サヘサマウノ異説が説をいいないかいない 人名せ、サクバーラヌコトナリサレに此書が回春ナーラ見んでウニい近こ 小間を方月月月月月初朝死日北少女在女残念ナヤウナモノ無盗やりてこれらうでうちの経をなると、重響するとと實三身三里の ウニアルグレラカマウニ療活せヨト萬世ノ為ニモテアル此ラ思ヒカへし思と 髪ノ木ーデ詳ニ説テッレカ素虚グ中三歴タトメアルクンが病かトキカヤ 上過し此書が直三七カ取ラルヤウと思フい山書り物体ニクライト云モ するまで、遠イマノマウニアケテオクハ庸をチラピスアマリ深り思 文聖分此伯·輩 上論文五龍六腑八五三及八大四肢百散脉络經心毛

ノコラスの子銭ハツキテイル借っしデスムカトインバスキースマス全人はやけ 證發微具註類註十少其外唐本和本上三種々アレル此四家之至 カアライカト云ハカタノ如ク精キナリ文義ノ取りやウガマラーカト云 ハスク三内経デとカーラルト云モノナリ佑今時通用内海、鉄次往往 ウライ、越人伸景孫真人許叔微大下電サラ書を皆内逐往也宋 世間テ内經、註八次許人註證發微人具許類ほでテノルり上思っガン 元明清三至リテモ理三叶ノ病論効アル茶が皆内律経を合らえ 随分針ナリケンニナゼスマストイへい内經版体ニクライカラナリ其る

不上云八内然、黄帝收伯二起儿其書力直三黄岐書子公子推

六十七

